様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 神戸こども総合専門学院 |
| 設置者名 | 社会福祉法人　野花会 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程名 | 学科名 | 夜間･通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
| 保育士養成 | 保育 | 夜・通信 | 72 | 6 |  |
|  | 夜・通信 |  |  |  |
|  |  | 夜・通信 |  |  |  |
|  | 夜・通信 |  |  |  |
| （備考） | | | | | |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

|  |
| --- |
| ホームページ（学校紹介・情報公開欄）に掲載 |

３．要件を満たすことが困難である学科

|  |
| --- |
| 学科名 |
| （困難である理由） |

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

* 様式第2号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 神戸こども総合専門学院 |
| 設置者名 | 社会福祉法人　野花会 |

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 神戸こども総合専門学院　学校評価委員会 |
| 役割 | 学院の運営と教育の在り方について、学校評価および項目別の自己評価の  内容に沿って審議した上で意見を具申する |

２．外部人材である構成員の一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 前職又は現職 | 任期 | 備考（学校と関連する経歴等） |
| 神戸自由学院学院長 | 2021.4.1.～  2022.3.31 | 1990年明石フリースクールを  開設し現在に至る |
| 放課後等デイサービス  よりみちクラブ代表 | 2021.4.1～～2022.3.31 | 神戸市立小学校教員を経て  2010年から現職 |
| （備考） | | |

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 神戸こども総合専門学院 |
| 設置者名 | 社会福祉法人　野花会 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |  |
| --- | --- |
| １．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| （授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）  年度末（3月）に次年度の講義概要を作成し『学生便覧』として刊行し、年度当初に学生全員に配布して周知徹底を図っている。  作成の進め方としては、講義概要作成要領に基づき、12～1月にかけて授業担当教員にシラバス（授業計画等）の原稿作成を依頼。その原稿をもとに講義概要を作成し刊行物『学生便覧』を年度当初に配布。  この、講義概要には授業科目名、授業の種類、担当教員名、授業回数、時間数、開講学年と時期、必修・選択、講義の目標とテーマ、授業の概要、授業計画、テキスト名・著者・出版社名、参考資料の事項について記載している。 | |
| 授業計画書の公表方法 | 学生便覧（年間授業計画）に記載 |
| ２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）  　学則及び教務事務要領の規定に基づき実施している。  　成績評価は、定期試験の成績と、提出物や平素の学習状況等を総合し、100点満点で行い、60点以上を合格として、2月下旬に持たれる教員会議（単位認定会議）の議を経て単位を認定している。ただし、実習については全時間の出席で成績評価資格を持つ。実習の評価方法は、実習先の評価を勘案して総合的に評価している。  定期試験の受験資格は、講義回数（15回）の2/3以上の出席が必要としている。不合格者には、再試験を行い、60点以上で合格としている。 | |
| ３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 | |
| （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）   1. ２に記載のとおり、点数評価方式を導入しており、学則において、総合評価60点以上を「合格」と規定している。 2. 授業科目ごとに取得した点数（100点満点）で成績評価を行い、その平均値（履修科目の合計得点/履修登録科目数）を算出することにより、分布状況の把握を行っている。 3. 成績評価の設定内容については、学生便覧に記載するとともに、学生・保護者には期末ごとに成績を通知している。成績の分布状況については、一覧表を作成して教職員に周知し、適切に実施している。 | |
| 客観的な指標の  算出方法の公表方法 | 学生便覧　第4章に掲載 |
| ４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）  　学則及び教務事務要領の規定に基づき実施している。  　学生がそれぞれ2年間の学修において到達すべき目標を示した「教育目標」を定めて、学生便覧に記載するとともに、4月上旬のオリエンテーション時に、学生に説明し周知徹底をはかっている。  　教育目標は、教科ごとに定め、その達成度を半期ごとに実施する定期試験で評価している。  　卒業の認定については、課程修了に必要な単位数及び時間数を修得しているかを、教務委員会の審議を経たのち、2月末に開催される教員会議（卒業認定会議）に諮り卒業の認定を行っている。  　課程修了を認められた者に対して、卒業証書を授与するとともに、専門課程にかかる専門士（保育士）の称号を付与している。 | |
| 卒業の認定に関する  方針の公表方法 | 学生便覧　第5章に掲載 |

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 神戸こども総合専門学院 |
| 設置者名 | 社会福祉法人　野花会 |

１．財務諸表等

|  |  |
| --- | --- |
| 財務諸表等 | 公表方法 |
| 貸借対照表 | ホームページ |
| 収支計算書又は損益計算書 | ホームページ |
| 財産目録 | ホームページ |
| 事業報告書 | ホームページ |
| 監事による監査報告（書） | ホームページ |

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野 | | 課程名 | | 学科名 | | | | 専門士 | | | 高度専門士 | | |
| 教育福祉 | | 社会福祉 | | 保育 | | | | 保育士 | | |  | | |
| 修業  年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | | | 開設している授業の種類 | | | | | | | | |
| 講義 | | 演習 | | 実習 | 実験 | | | 実技 |
| 2年 | 昼 | 90単位 | | | 39単位 | | 42単位 | | 8単位 | 単位時間/単位 | | | 1単位 |
| 単位時間／単位 | | | | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | | | 専任教員数 | | | 兼任教員数 | | | 総教員数 | |
| 100人 | | 21人 | 0人 | | | 7人 | | | 26人 | | | 33人 | |

|  |
| --- |
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要）  「指定保育士養成施設指定基準」に基づきカリキュラムを構成している |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）  　学則及び教務事務要領に基づき実施している。  　成績評価は、定期試験の点数と提出物や学習状況を合わせて100点満点で行い、  　60点以上を合格としている。  　成績の評価は、A（優）B（良）C（可）及びD（不可）とし、C（可）以上を  合格とする。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | A（優） | 80点以上 | B（良） | 70点以上 | | C（可） | 60点以上 | D（不可） | 59点以下 |   　ただし、保育実習　I　II（保育所）、保育実習　I（施設）、保育実習指導　I　II  　体験実習（保育所）（施設）、保育実践演習は、各実習及び演習の成果  並びに履修状況を総合的に評価し、合格（P）もしくは不合格（N）とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）  学則の規定に基づき、課程修了に必要な単位を修得しているかを、教員会議（卒業認定会議）に諮り、卒業の認定を行っている。課程修了を認められた者に対して、卒業証書及び当該専門課程にかかる専門士の称号を付与している。 |
| 学修支援等  （概要）  学年ごとに担任教員を配置し、学生の修学及び学生生活全般に関する事項について  適切な指導助言を行っている。また必要に応じ各講座担当講師による時間外指導を  行っている。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | | |
|  |  | | | |
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数  （自営業を含む。） | その他 |
|  | 11人  （100％） | 0人  （　　％） | 11人  （　　％） | 0人  （　　％） |
| （主な就職、業界等）  保育園、障がい者（児）施設、児童養護施設 | | | | |
| （就職指導内容）  2年次、週1回の就職ガイダンスの授業を通じワークライフバランスを重視し  長期就業を目的とした就職環境を選ぶ | | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等））  　保育士資格  ＊豊岡短期大学通信教育部サポート校として  短期大学士（幼児教育学）、幼稚園教諭2種免許状、社会福祉主事任用資格 | | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 20　人 | 0人 | 0％ |
| （中途退学の主な理由） | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組）  過去3年間の中退者の原因分析を行い対策として、学生の出欠状況の把握や悩み等の状況を早期に把握するために、週2回心理カウンセラーとの面談機会によるカウンセリング支援を実施している。 | | |

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学科名 | 入学金 | 授業料  （年間） | その他 | 備考（任意記載事項） |
| 保育 | 200,000円 | 900,000円 | 25,000円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
| 修学支援（任意記載事項） | | | | |
|  | | | | |

ｂ）学校評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自己評価結果の公表方法 | | |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  http://kobe-kodomo.ac.jp | | |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） | | |
| 学校関係者評価委員会は関係施設職員により構成し、学院が行った自己評価及び項目別の自己評価（教育理念、学校運営、教育活動・成果、学生支援、教育環境、社会貢献、地域貢献等）の結果に対する評価を行う。  学院はその結果を受け、学院長を中心として次年度の教育活動、その他の学校運営の  改善に努めている。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 神戸自由学院　学院長 | 2021.4.1.～  2022.3.31 | 地域の単位制通信高校 |
| 放課後デイサービス  よりみちクラブ代表 | 2021.4.1.～  2022.3.31 | 児童福祉施設 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  http://kobe-kodomo.ac.jp | | |
| 第三者による学校評価（任意記載事項） | | |
|  | | |

ｃ）当該学校に係る情報

|  |
| --- |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）  http://kobe-kodomo.ac.jp |